

一般質問

荒井 眞理 議員

人が育つ佐渡にするために 思い切った予算増を



【質問】 不登校児の訪問指導回数増と、家族に対するカウンセリング体制が求められているのではないかと。

【教育長】 可能な限り対応したいが訪問相談員は非常勤で6名という問題があり、非常に少ない回数になる。訪問を希望しない家庭はカウンセリングや学習支援を受けることは難しい。

【質問】 訪問できないなら子どもがお気に入りの場所をどこか柔軟に考えては。

【教育長】 子どもたちへの効果を考える必要があり、全体の問題として考えて行く。

【質問】 子どもたちのより良い教育を保障するため教員の多忙化と長時間勤務の解消をすべきではないか。

【教育長】 国県からの各種調査の更なる削減を求め、部活動の外部人材のための予

算措置、計画を進める。

【質問】 2学期は暑さの収まった9月1日開始に戻すべきではないか。

【教育長】 7月の夏休み開始の調整は可能だと思ふ。

【質問】 佐渡は離島で最も図書館費が少ないが図書館サービスの充実を求める。グランドデザイン策定には

専門家を加えた委員会設置と市民参加のワークショップをすべきではないか。また、さわた図書館は子どもの利用が多いがスペースが

不十分で移転が必要では。

【教育長】 課題を検討する。

【質問】 市民の13人に1人が障害者手帳を持っている。各地区に障がい者の居場所、活動支援センターが必要である。ひきこもりの方もニーズは一致しているの

で関係課と連携し進めてはどうか。

【社会福祉課長】 地域活動支援センターとしてアントレプレナーがあるが、今後、市民が気軽に集う居場所作りに関係課と取り組まなければいけないと考えている。

【質問】 島特有の問題もある。障害福祉フォーラムにも当事者のために参加費の配慮等が必要ではないか。

【社会福祉課長】 当事者、家族等が参加できるような配慮を検討していきたい。

【質問】 佐渡における安全保障とは、トキ、世界農業遺産、ジオパーク、ユネスコの世界遺産登録を目指す平和の礎としての佐渡をもつと国際社会にアピールすることではないか。

【市長】 佐渡が非核平和都市宣言を行い、平和な島、エコの島であることを強くアピールし続けなければなら

ないと考えている。

一般質問

祝 優雄 議員

市立病院の問題点



【質問】 平成28年12月議会で私が、病院を建てるには診療形態や患者が集まりやすい条件を整える事で場所も決まってくるとの質問に、

「市立病院の建て替え構想」と言うものを将来的な医療構想、診療内容、規模などを確定したうえでなければ病院建設にならない。まず医療構想を徹底して固めるように指示した」これに間違いはないか。

【市長】 ほぼ議員がおっしゃった部分だ。診療科目医療規模が先だと言うことで規模を固めるために医療構想が必要と言う事である。

【質問】 市長から病院建設に向けての所信表明もない。議会が求めている福祉と医療の一体運営についても明確な答弁が無い。この件については委員会です詰めるが、病院現場の長時間労働

が問題になっている市立病院の時間外勤務の実態は。

【両津病院管理部長】 80時間を超える超過勤務は4月から7月まではない。

【質問】 病院現場では医師不足が続いている。市立病院は新潟大学、新潟市民病院、自治医科大学、佐渡病院などから医師派遣など協力を得ているが支援を受けている大学や医局・病院に出向いてお礼や意見交換を行ったことがあるか。

【市長】 新潟大学の学長にお礼を述べた事はあるが、大学の医局や病院に出向いてお礼を言ったことはない。

【質問】 以前の質問に、市長が直接病院現場に出向いた

ことが無い。医療現場で医師や職員と話した事も無い。医師派遣など協力を頂いている関係者に挨拶に出向くこともない。その様な市長が病院建設を提案するのは不見識ではないか。

【市長】 指摘を踏まえ善処したいと考えている。





一般質問

渡辺 慎一 議員

ガバナンス欠如による 行政の劣化を強く指摘



【質問】 一層のIT利用による行政の効率化、市民サービス向上の可能性は。

【市民生活課長】 申請書作成システムを10月17日稼働に向け準備を進めている。

【総務部長】 電子決裁システムは、9月中に契約、来年1月の試験運用、4月の本格実施である。

【質問】 市の管理する施設の入場料、使用料等の公金の管理は万全か。過去の500万円現金着服について説明願う。

【社会教育課長】 平成21年から26年の6年間、佐渡学センター所管の3施設の収入金530万を元職員が搾取した。一人の職員に現金回収と入金処理を任せていたことと組織としての定期的なチェック体制がなかった。
【質問】 コンプライアンス研修やマニュアル見直しでは

なく、*POSエアレジ等による具体的、かつ牽制の効いたシステムの構築が必要と思うが。*POS：販売時点情報管理システム

【市長】 研究の価値は十分にありと思う。

【質問】 7月24日豪雨災害対応における反省点と今後の対策、方針は。

【市長】 避難勧告は範囲が広すぎ、わかりづらいとの意見があり、今後は地域の特性や危険の度合いを丁寧に確認し、きめ細かい情報伝達をする。

【質問】 ワクチン誤投与については役所での管理をやめべきと思うが。

【子ども若者課長】 来年度以降、個別接種実施可能か検討する。

【質問】 市長、副市長の責任は市民感情からすると市長は10分の3、担当副市長は

10分の2減給相当と思うが。

【総務部長】 市民感情からすると確かにその通りであると感じている。

【質問】 佐渡市の重大な信用失墜だ。市長は自ら責任を取ろうとしないのか。

【市長】 今回の件については公表通りの処分をしたい。

【質問】 ガバナンス欠如による行政の劣化だ。

【市長】 職員は全体の奉仕者であり、公共の利益のために職務専念することを深く自覚されるよう、これまでに以上に指導する。

【質問】 本年度当初予算469億円は9月補正の計上で500億円を超える。徹底した行財政改革はどこへ行ったのか。

【市長】 指摘については数字の捉え方と考え方の違いだ。

常任委員会委員及び所管

◎委員長 ○副委員長（平成29年9月12日現在）

委員会名	委員名	所管
総務	◎山田伸之 ○広瀬大海 渡辺慎一 大森幸平 中川直美 中川隆一 竹内道廣 岩崎隆寿	総務部・企画財政部・議会事務局・会計課・選挙管理委員会・監査委員・固定資産評価審査委員会・消防本部
社会文教	◎駒形信雄 ○宇治沙耶花 北啓 荒井眞理 祝優雄 金田淳一 (欠員1名)	市民福祉部・両津病院・相川病院・教育委員会
産業建設	◎坂下善英 ○室岡啓史 上杉育子 中村良夫 佐藤孝 猪股文彦 近藤和義	産業観光部・建設部・農業委員会

特別委員会委員及び付託事件

委員会名	委員名	付託事件
議会報編集	◎北啓 ○山田伸之 宇治沙耶花 広瀬大海 荒井眞理 坂下善英 中村良夫 近藤和義 祝優雄	議会報の編集及び発行に関する事 議会広報に関する事
議会改革等	◎渡辺慎一 ○上杉育子 室岡啓史 山田伸之 荒井眞理 坂下善英 大森幸平 中村良夫 佐藤孝 猪股文彦	議会基本条例に関する事 議員定数に関する事

要望・意見に対する市の対応状況

平成29年第6回(6月)定例会で、常任委員会が議案に対して付した意見、要望に対しての、市の対応状況を報告します。

(1)佐渡市奨学金貸与条例の制定について

意見・要望 この条例は、教育の機会均等を図り、有能な人材を育成するとともに将来にわたる定住を促すことを目的としているが、奨学金の主旨からすれば世帯の状況によらず学習意欲のある子どもに教育を受けさせるということが大前提である。

ゆえに、市税等を滞納していない世帯としている貸与の要件は撤廃すべきである。更には、所得制限を明確に設定し、申請者全てを対象にすべきである。

よって市は、施行規則及び運用方針において、これらの要件が確実に履行されることを強く求める。

対応状況 佐渡市奨学金貸与条例施行規則の一部改正において、貸与の要件及び所得制限の要件について整理し、確実に履行されるようにした。

(2)小型動力ポンプ付軽積載車購入契約の締結について

意見・要望 市内事業者優先発注に係る実施方針の主旨に沿うよう、入札制度の見直しを検討されたい。

対応状況 今後の入札においても、法令を遵守し公正かつ競争性を確保して実施する。

他方、入札案件以外の購入契約等については、市内事業者優先発注の主旨に沿って進めるものである。

(3)平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第2号)について

①畜産振興事業について

意見・要望 当該事業は、生乳プラント整備に係る補助金交付を行うものであるが、補助金の大幅な増額を目的とした要綱を別に制定し、補助事業を行うことは一定のルールを大きく逸脱する行為であり、極めて異例なことと言わざるを得ない。

今後は既存の補助金要綱で実施できない事業を行う場合には、事業実施条例を制定し、予算執行を行うよう強く求める。

また、経営に当たっては鋭意努力を行うよう関係機関に対して強く指導すること。

対応状況 本市の補助金交付における手続に関する統一的な規程として、佐渡市補助金等交付規則があり、その上で各々の補助事業ごとに補助金交付要綱を制定し、機動的な予算執行に対応している。

事業実施条例の制定に関しては、補助事業の規模・内容等から総合的に判断すべきものとする。

経営に関しては、関係機関に対し、事業計画の達成に向けた経営に取り組むよう指導した。

また、整備後は経営状況の報告を求め、事業計画と著しく相違がみられる場合には、改善指導を行う。

②農業施設管理事業について

意見・要望 当該事業は、金北の里と妙見荘を繋いでいる渡り廊下を撤去する等の設計管理費であるが、本来は渡り廊下等の撤去後に譲渡を行うべきものであるため、早急に撤去等を進めること。

また、撤去等を行った後の事業計画が不透明であるため、早急に全体計画を策定し、報告すること。

対応状況 渡り廊下撤去にかかる家屋調査業務委託料並びに施設改修工事費の補正予算議案を本年9月定例会に提出した。

また、事業計画については、療育支援機能が本年9月末で移転する予定であることから、これまで利用できなかった団体に声がけし、妙見荘の中山間地域における農業及び農村の活性化を図るといった設置目的に沿った利用を推進するとともに、公民館事業等での活用を促進する。

請願・陳情の処理状況

平成29年第3回(3月)定例会で、採択した請願・陳情に対しての市の対応状況を報告します。

請願第1号

生乳プラントの新設に係る財政支援についての請願

主管課 産業観光部農業政策課

処理経過及び結果

平成29年度に佐渡市酪農振興施設整備事業補助金交付要綱を制定し、6月市議会定例会で当該事業に係る補助金の補正予算議案が可決された。

農林水産省から強い農業づくり交付金の交付決定を受け、佐渡農業協同組合に対し平成29年7月3日付けで佐渡市酪農振興施設整備事業補助金の交付を決定した。

佐渡農業協同組合では、本年度中の竣工を目指し整備を進めている。

請願第2号

両津支所改築計画についての請願

主管課 教育委員会社会教育課

処理経過及び結果

両津支所の改築については、平成28年7月19日から同年11月28日にかけて3回開催した地域説明会において、公民館施設の調理室の設置についても要望が出されたが、両津地区には近隣のあいぽーと佐渡に調理室が設置されているため、これを有効活用したいと考えている。

この調理室については、説明会の中で一定のご理解をいただいたので、平成29年度予算において、より使いやすくするための改修費を計上している。

また、説明会の中で「新しい両津支所内の給湯室で煮炊きができる機能が欲しい」との要望があったので、その意見を踏まえ、両津支所の給湯室

請願第4号

地域のスポーツ・文化の拠点である

真野地区体育館等についての請願

主管課 教育委員会社会教育課

処理経過及び結果

真野体育館の廃止に係る代替案について、先に開催した意見交換会での意見や直接寄せられた意見等を考慮し、検討しているところである。

説明内容がまとまり次第、真野体育館に係る説明会を開催する予定としている。

請願第5号

佐渡観光協会真野案内所の存続・拡充に関する請願

主管課 産業観光部観光振興課

処理経過及び結果

真野案内所の閉所後の状況について、佐渡観光協会に確認するとともに、平成29年6月に請願者及び関係者との話し合いを行った。

請願者からは、「地元の人たちが地域資源を活用して観光客に地域資源を紹介することで地域内の滞在時間を増やし真野地区を活性化させたい」という思いを持っており、そのために地域内のプラットフォームが必要であるとの意見であった。

このため、案内所は閉所したが、中央支部の担当職員は配置されており、従来どおり観光誘客につながる事業又は取組については、支部担当職員が